

連携のフロフェッショナルに聴く！ 入退院支援と在宅療養支援の 現場レポート！

2020年1月18日（土）14時～姫路市医師会館大ホールにて、山内 真恵 さん、松岡 邦彦 さんをお迎えし、研修会を開催しました。講演後は、参加者 多職種41名が9つのグループに分かれて話し合い、参加型の学びの場となりました。

病棟リンクナース×地域
連携室の現場より

山内 真恵 氏 看護師
(武蔵野赤十字病院)



病院と在宅が抱えるジレンマを互いに理解しながら、意思疎通が円滑なチーム作りが大切であることを話されました。

- ・立場によって必要な情報は違う
- ・時間と環境の変化で、患者や家族の思いや考えは変わる（過去の情報にとらわれず、今後どうするかをチームで考えていくことが大切）
- ・役割分担・・・業務の伸びしろ部分を互いに意識して、連携していくことが良いのではないかな

地域連携室×在宅療養支援
診療所の現場より

松岡 邦彦 氏 社会福祉士
(茶屋町在宅診療所)



地域密着型の在宅診療所の活動をご紹介いただき、また、MSW、オープンダイアログについて詳しく話されました。

- ・診療所では、「困難ケースへの対応」「寄り添う支援」を行い、まちづくりにも参加している
- ・入退院支援だけがMSW（医療ソーシャルワーカー）の仕事ではない！
- ・オープンダイアログ（極力薬物療法等は行わず、症状改善まで毎日対話する）を通して、その人の生きている世界を感じ取ろう

グループワークで話合った内容を
発表して、みんなで共有



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・職種により、意見や立場は異なるが、本人や家族を軸にして考えるということが重要である
- ・いろんな専門職の方とお話しできて、勉強になったし、とても楽しかったです。もっと自分から積極的に動くことも大切だなと感じました
- ・MSWの役割について新たな考えがわかり、面白かったです
- ・オープンダイアログの考え方を参考にしたい
- ・やっぱり、チームって大切だなあと。あと、多職種の理解。勉強していきます